

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>自転車は、他の交通機関と比べて環境にやさしい交通手段であり、子どもから高齢者まで幅広い世代において、便利で身近な乗り物として、通勤・通学、買い物、サイクリング、観光・レジャー等、日常生活から余暇活動まで、さまざまな場面で利用されている。さらに、近年では、健康づくりや環境意識の高まりなどあって、移動手段として利用ニーズも増加しており、本市の実情に応じた事業の展開が必要である。</p>
見直し・改善内容	<p>和歌山市自転車活用推進計画の実施及び進捗管理を行い、必要に応じて計画見直しの実施も検討していく。また、シェアサイクル事業においては、引き続き関連事業者（交通事業者や運営事業者など）と協議を行い、持続可能な事業として、実施に向けた検討を進めていく。</p>